

## 令和4年度 社会基盤整備と建設業の魅力発信事業

### 1 目的

社会基盤整備に係る県民理解の推進と将来にわたる建設業の担い手確保のため、新聞紙面を活用し、社会基盤施設の整備効果や施設整備を支える建設業の魅力を広く発信する。(兵庫県建設業育成魅力アップ協議会の事業として実施)

### 2 事業内容

- ・建設業に携わる「人」、特に「若手、女性、技能者」に着目し、社会基盤整備と建設業の魅力を発信する。
- ・情報発信には、県民への訴求力の高い新聞紙面(朝刊・県下全域版)を活用し、特集記事を制作・掲載する。神戸新聞朝刊 約40万部(R3)  
※ 読者意見を踏まえ、図・イラスト等を多く掲載する。

### 3 発信する情報、時期、規模(案)

建設業育成魅力アップ協議会の取り組みの一つとして実施。

	時期 (予定)	内 容	規 模	
①	12月	【河川】尼崎港管理事務所管内 新川水門、新川・東川統合排水機場の整備事業 県職員、工事関係者	1面	8段
②	1月	【道路】新温泉土木事務所管内 (主)香住村岡線 矢田橋 架替工事 県職員、工事関係者	1面	8段
③	2月	【学生向け見学会】(県立篠山産業高校) (主)西脇篠山線 道路改良工事 学生、県職員、市職員、工事関係者	1面	8段
④	3月	【建設業協会担当分】 県営新多聞住宅建築工事 (急)西本村地区 急傾斜地崩壊対策工事 工事関係者、県職員	2面	24段

費用負担：①～③を県負担(24段)、④を建設業協会負担(24段)